

# 「社会的養護の必要な子育て家庭の支援を考える」

おかやま県北ちやいんどネットワーク



## 【テーマ】

- ① 社会的養護を必要とする子育て家庭の実情を知る。
- ② 社会的養護を必要とする家庭を実際に支援している施設を見学し、現場の方のお話を聞き活動の参考にする。
- ③ ネットワークの会員内で情報を共有し、今後の岡山県北の子育て支援をさらに充実させていく。

## 【事業の内容】

6月10日  
ファミリーホーム  
「Anneの家」視察・研修



9月15日  
ドキュメンタリー映画「さとにきたらええやん」上映会



10月21日 「こどもの里」視察・研修



12月5日  
視察・研修報告会&子育て支援者交流会



## 【アンケート結果】

### 「上映会」

- ・子どもの里のスタッフさんの子どもへの関わり方がすごいと思った。真正面から向き合っているのが伝わってきた。
- ・誰かに認めてもらう、受け入れてもらう、自分がいてもいい場所があるということが、どれだけ人間にとって必要なのかをつきつけられた。

### 「子どもの里視察研修」

- ・庄保さんのお話を聴き、思いにふれ感動した。「カオスが重要、カオスとは社会の多様性を認める事」など、心に突き刺さる学びをいただいた。
- ・視察中でも「ただいま」と帰ってくる子ども達の姿に、里のいつも姿を見ることができ、すごいと感じた。
- ・想いを共にする人達と一緒に、現地に視察に行けたことが何よりだった。車中を利用して、それぞれのメンバーの活動を聞いたり、研修の感想を共有できて、つながりが深まった。
- ・地域の様々な分野の方々とつながることの必要性、力をあわせることの大切さも実感した。

### 「報告会&交流会」

- ・行政、民間、専門機関の方々が参加され、色々な話しができ、又情報が得られた。お互いの活動を理解する事、顔と顔が見える事で、今後一人でも多くの親や子どもが生きやすく、子育てが楽になればと思う。
- ・子どもの人権、自立など大切なテーマについて考え、ひとつの回答を得た経験を、再度しっかりと確認しあえた。
- ・「人は自分の中にしっかりと成長する力をもっていること」を信じてゆっくり、じっくり、待つ(話を聴く)を心がけたい。

## 【実施により得られた成果・効果】

- 貧困や虐待など弱者であっても、信頼が持て、憧れの気持ちを持てる大人がいる居場所につながれば大きな力を発揮できる。子ども自身の中に力がある、と信じて関わる里のスタッフさんから、直に学べたことは、各居場所づくりに生かせる大きな力となる。
- 社会的養護というテーマのもと、同じ志の方々となることができ、子育て支援のネットワークの輪が広がり、更に深くなった。又、これまでつながることがなかった方々と、今回の事業によりスムーズにつながることができ、今後県北での子育て支援面での強化が図れる足がかりとなった。
- ふりかえりの会や車中で思いを交流することで、相互の信頼を高めあうことが出来た。地域が離れていても、共通の思いで頑張っている仲間がいることを再認識できる機会となった。
- 上映会での事前学習、こどもの里研修での学び、そして報告会&交流会で地域課題へと視点を持っていくことが出来、今後の課題が共有できた。

## 【課題と改善点】

本事業を進める中で、会の構成メンバーが、それぞれ違う場所で拠点を持っていたり、様々な活動をしていたりということがあり、集まって協議をしたり、合意形成を図ることが難しかった。

今回の事業を通して広がった子育て支援者のつながりを、地域の社会的養護の必要な子育て家庭の支援につなげるためにも、それぞれの事情を踏まえながら、メンバーみんなで作成、進化していくおかやま県北ちやいんどネットワークの今後の会の在り方や情報共有、運営方法などを検討し、再構築していきたい。